

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	静岡市中心障害児福祉センターいこいの家		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 5日		2025年 11月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 55
○従業者評価実施期間	2025年 8月 26日		2025年 9月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 40
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の資質の向上を図るために、研修を年間で計画して実施している。	職員全体として、ケース検討会、歯科の症例検討会、作業療法士による研修会、医療的ケア研修を行い、また個々で受けた研修は報告会等を実施している。	今後も研修等で学んだ知識をより良い支援に活かすよう努めていく。職員同士で様々なアイデアを出し合い新しい活動や支援に取り組んでいく。
2	地域との関わりを大切にしている。	「いこいの家まつり」の開催やボランティア・実習生の受け入れを通じ、地域に根差した運営を実施している。また、ホームページやSNSを用いて情報発信をしている。	児童発達支援センターとして地域の子育て支援へ深く関われるよう、地域との繋がりを密にし開かれた施設を目指していく。
3	正規職員がクラスを担当しており、職員配置が充実している。	正規職員が多く時間の共有がしやすいため、クラス会議や職員全体でのケース検討会等で意見を交わす場が多く設けられている。職員同士が日々密にコミュニケーションを取りながらより良い支援へと繋げている。	各クラスに経験年数5年以上の職員を配置し、専門的な支援に取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の園との交流はできていなかったという意見が多かった。	園庭交流は実施したが、回数は少なかった。	次年度からは、前期と後期に各クラス一回ずつ実施出来るよう年間で計画する。
2	保護者様同士やきょうだい様同士の交流の機会が少なかった。	きょうだい様同士の交流については、夏休みに計画したが参加人数が少なく実施に至らなかった。	保護者懇談会でいただいた意見を参考に、保護者様同士やきょうだい様同士が交流をもてる機会を計画していく。
3			